



大阪南ライオンズクラブ会報

2008年8月号

会長テーマ 「大夢真進」
大きい夢にまっすぐ進む



例会報告 第 1210 回 平成 20 年 7 月 2 日 (水) 12 : 30 ~ 13:30

於 : 天王寺都ホテル



高橋会長 着任ご挨拶



役員・理事

- 左から
- L 菊地
- L 吉田
- L 北野
- L 福島
- L 高橋
- L 藤田
- L 丸山
- L 川畑
- L 山元



地区ガバナー 任命書

指導力育成委員長

L 丸山 昇

4R 7I7A° -ツ

L 菊地正紀

Y C E 委員

L 高橋純一 (8月30日迄)



お誕生日お祝い L 吉本 L 進藤 L 吉田

例会報告 第 1211 回 平成 20 年 7 月 30 日 (水) 17 : 00 ~ 19 : 30

於 : ホテル日航大阪

4 R 1 Z 7クラブ 合同例会とビアパーティ

大阪南ライオンズクラブ 大阪関西ライオンズクラブ

大阪東住吉ライオンズクラブ

大阪帝陵ライオンズクラブ 大阪平野ライオンズクラブ

大阪さくらライオンズクラブ

大阪なみはやライオンズクラブ



リジョンチアパ-ツ L 菊地正紀 挨拶



幹事報告 L 藤田和也



ビア-パーティ ダンス



YE 派遣 7/20 ~ 8/24 ロスアンゼルス



派遣生 チェルピンスカ芽衣さん
幹事 L 藤田和也



母の由美子さん
YE・国際委員長 L 花田文蔵



YE 委員 L 高橋純一



9 地区会則委員長 公認ガイディング・ライオン

丸山 昇

6月 9日 月	次期地区委員長会議	日航ホテル大阪
6月 16日 月	第4回リジョン会議	天王寺都ホテル

地区指導力育成委員長 公認ガイディング・ライオン

丸山 昇

7月 1日 火	大阪コミュニティLC 理事会	ホテルウエスティン大阪
7月 3日 木	大阪なみはやLC 理事会	ホテルアウイーナ大阪
7月 4日 金	第1回MERL会議	日航ホテル大阪
7月 7日 月	4R予備会議	つる井
7月 8日 火	新クラブ結成打合せ	CAB事務局
7月 11日 金	第1回指導力育成委員会	日航ホテル大阪
7月 15日 火	第1回各種委員長会議	日航ホテル大阪
7月 15日 火	地区各種委員長懇親会	日航ホテル大阪
7月 17日 木	第1回複合地区ガバナー協議会	神戸ポートピアホテル
7月 22日 火	第1回キャビネット会議	日航ホテル大阪
7月 28日 月	第1回リジョン会議	日航ホテル大阪
7月 30日 水	第2回MERL会議	CAB事務局

地区YE委員 高橋 純一 行動記録

7月 3日 木	1~8・11・12RクラブYCE委員長研修会	天王寺東映ホテル
7月 3日 木	第1回YE委員会	天王寺東映ホテル
7月 4日 金	夏期来日ユース出迎え(カナダ)(チェコ)	関西国際空港
7月 18日 金	第27回国際ユースキャンプ ウエルカムパーティ	新大阪ユースホステル
7月 19日 土	第27回国際ユースキャンプ開始	広島原爆ドーム等
7月 20日 日	第27回国際ユースキャンプ	姫路城等
7月 21日 月	第27回国際ユースキャンプ	新大阪ユースホステル
7月 27日 土	第27回国際ユースキャンプ	舞洲スポーツアイランド
7月 28日 日	第27回国際ユースキャンプ フェアウェルパーティー	太閤園
7月 29日 火	夏期来日ユース帰国見送り(カナダ)	関西国際空港

例会後行事

7月2日(水)	第1回 理事会	於：天王寺都ホテル
7月9日(水)	記念誌校正	於：アメリカン
7月16日(水)	CN会計報告	於：アメリカン
7月25日(水)	第50期年度末会計監査	於：アメリカン

対外レポート

- 7月1日(火) 大阪市姉妹都市協会 理事会・総会 於：シヅカ都ホテル
L 高橋純一出席
- 7月3日(木) 各クラブ YE 担当委員長研修会 於：ホテル日航大阪
L 花田文蔵 出席
- 7月9日(水) 大阪市役所表敬訪問(YE) L 花田文蔵 出席
- 7月20日(日) 夏期 YE 派遣ユース出発見送り 於：伊丹空港
L 藤田和也 L 花田文蔵 出席
- 7月26日(木) 第1回会長・幹事会 於：日航ホテル大阪
L 高橋純一 L 藤田和也 出席

7月お誕生おめでとう御座います

L 進藤富三郎 L 辻井康治 L 吉本 望

7月お誕生おめでとう御座います

L 進藤富三郎 L 辻井康治 L 吉本 望

「 センタクシ クラブ活動の新しい選択肢 」

松本 豊

私は仕事に就いてから約六十年、ずっと小売業を営んで来ましたが、扱った商品は呉服から婦人服と変わって来ましたが、一貫してそれも女性消費者を相手にして来ましたが。

戦後一番変わったのは日本の女性だと云われて居りますが、では男性はどうなのか、変わったとすればどう変わったのか、私の目に映った女性の姿を通して、日本人の心情の変化について考えて見たいと思います。以前のお客様が例えば着物をお買いになる場合、一番気にされるのは自分にふさわしいかどうかと云う事です。自分の年齢について派手すぎないか、地味すぎないか、又近所の人達や親類の人と自分との関係を逸脱して、安物過ぎないか高級品すぎないか、粋すぎないか、野暮すぎないか、また極端な流行に左右されず、長く着られるもの、出来れば娘に譲って娘も喜んで着る様なものを買いたいと云うのが本心でした。

即ち着物一つ買うにしても常に近隣社会との調和を心掛け、他人との関係、家族との将来を考えて居た訳です。

戦後の六十年代から国際化と称する風潮に乗り蕩々と外来文化が日本に入って来たのは結構な事ですが、その分以上に日本古来の風習、行事、情緒が喪失してしまいました。勿論習慣だけでは無く、日本人としての心情が無くなってしまったのです。

特にスーパーマーケットの登場がお客様の購買度を一変させました。以前は衣料品であろうと食品、薬品であろうと、殆ど馴染みの店があり、そこで挨拶をし、商品の良否を聞いたり、冗談を云って笑ったりし乍ら買物をしました。処がスーパーでは、食料品を買ったり衣料品を買ったりしても一言もしゃべる必要はありません。必要が無いと云うより店員が居りませんし、話す場もありません。この様な買物態度を何十年も続けて居りますと、それが当然となり店員の居る店へ行っても、聞くとか相談するとか云う会話が無く、黙って商品を試着室へ持って入り、気に入ればそのままレジに持参して金を払って帰ると云う状態で、終始無言の行であります。行きつけの店や馴染みの店員も居りません。買うのは安い店かたまたま目を引いた品があった店と云う事になります。私の若い時には両親共必要な品は必ずと云って良い位、近所のお店を優先させて買物をして居りました。近所の店を通り越して特売だからと云って遠くの公設市場へ買いに行く様な事はするなど、良く親父がお袋を叱って居た事を思い出します。

そのお陰か終戦前後の物質不足の頃も馴染の米屋さんや、魚屋さんが裏から品物を廻してくれたりして大いに助かりました。

行きつけの店が有り、心安い人達が居り連帯感があり、何よりも会話がありました。時代に従って日本古来の行事や風習に変化があるのは当然としても、変化では無く、これを喪失し、日本人としての情緒や、連帯感まで無くなってしまふのは如何でしょうか。

私の子供の頃は長屋住いでしたから、家の前の道路が遊び場で、昼御飯は向かいの家で

食べ、オヤツは三軒先の家で焼き芋を貰うと云う有様で隣近所の交遊は密であり、「遠くの親戚より頼りになるのは隣近所」と云う通りであります。その辺の子供がいたづらや悪い事をしますと近くに居る大人が「コラッ」と云ってゲンコでゴツンとやったり、お尻を引っばたい度りして、悪い事とはどう云う事が皆教えてくれました。

今は長屋等は殆ど無く皆マンションで近所処か、隣は何人住んで居るのか、何をして居る人かも知りません。孤独死が増えるのは当然であり、これで社会と云えるでしょうか。

小学生や中学生でも学校から帰っても両親共、働き出て居らない。祖父や祖母は勿論別居で居ない。近所の人も言葉一つ掛ける人も居ない。唯一あるのはケータイのメールです。会話ではありません。「会話とは二人あるいわ、少人数で向かい合って話しあうこと」と広辞苑に載って居ります。即ち相手の顔色を見、その顔色の变化、語気の強弱、身振り等に依り相手の意志や感情を推察する「K・Y(空気を読む)」事であります。メールは連絡であっても会話ではありません。

近頃毎日何件も新聞に乗って居る様な理由の無い殺人は全部会話の無い人達のした事です。学校では友人が居らない、仕事先は派遣で話しはしない。家庭では親が離婚して居るか、毎日ケンカばかりして居る。この様にして育った若者が、連帯感を持ったり、人命を尊重したりする筈はありません。自分の生命も大切に思っていないのでしょ。

狼は群れを作って生活し、きちんと長幼序があり、子供を大切に育てます。しかし何等かの事故等が有り、仲間からはずれ或いははずされた狼は、一匹狼となり、人を襲い、或いは仲間さえ殺すと云われて居ります。まして社会生活に慣れた人間は個では生きて行け無いのです。だから何をするかわから無いのです。

「個」にならない為には社会には色々な人が沢山居り、その人達と一緒に生活して居るのだと云う気持、即ち連帯感が必要です。連帯とは結びつらねる事、連繋を強める事と、これも広辞苑に載って居ます。連帯感を持つ為に必要なのは一にも二にも会話であります。

ライオンズクラブの活動も会員数の減少もあり金銭奉仕はどうしても小額となり陳腐化しつつあり、労力奉仕も会員の老齢化もあり、はかばかしく行きません。

次世代の人達の連帯感の醸成、その為の会話の復活(会話の楽しさを味い身につく様に会話のやり方を教える)こそがライオンズクラブの労力や資金を投入すべき大きな選択肢の一つであると思います。

終

